



化学班

活動日時／月、水、金 17:30 まで

参与との相談により他の曜日も活動可

活動場所／化学室

参与／2 名

班員／17 名

3 年生 10 名、2 年生 7 名

化学班の主な活動内容は、1 年を通して各自が定めたテーマに関する化学研究を行うことです。そして、その研究を春や秋の大会で発表し、3 年生での夏の全国大会出場を目指します。

化学班は、ただ単に化学を学ぶ班ではありません。反応の結果を予想し、実際に薬品を使って実験をし、その結果を自分達目で確かめます。また、定期的にプレゼンテーションを行い、班全体でそれぞれの実験についてディスカッションをします。指摘や課題から改善策を考え次からの実験に役立てていくことで研究の質の向上が見込めます。予想と違う結果が出たときや、方針が立たず実験が進められなくなってしまったとき、「何故そうなったのか？」や「どうしたらよいか？」を徹底的に掘り下げていくことで、新たな知見を得たり化学の面白みに気づいたりすることができます。他者の意見を積極的に取り入れ、何度も実験を繰り返し、真理を追究することこそ化学の醍醐味であり、私たちが化学班で活動する意義、つまりは楽しみなのです。

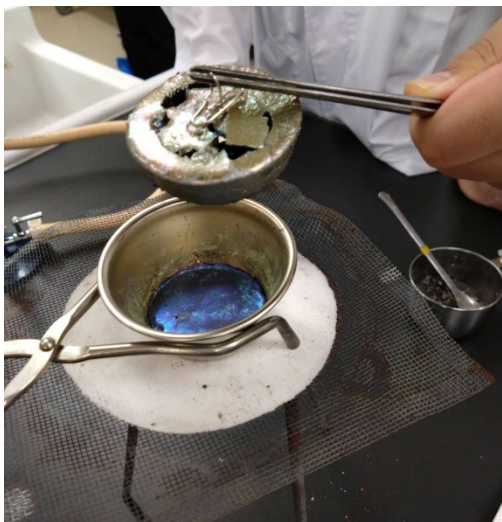
化学班では個人の自主性を重んじており、班員は自分たちでテーマを設定し、研究を進めていきます。研究途中では大きな壁に出くわすこともあるかもしれませんが、しかし、その壁を自分たちの力で乗り越えていくことで人間的に成長することができ、研究もまたよりよいものになっていくでしょう。

新入生の皆さんが入班する際には、化学の知識や技術などが全くなくても構いません。初めは私たち現班員が指導します。先輩方や、現班員もそうでした。また、1 年生の頃から化学に触れることで2 年生からの化学の授業を理解しやすくなり、化学により興味を持てるようになるでしょう。大切なのは日常生活の中で感じるふとした疑問や興味、そして「もっと知りたい」と感じる飽くなき探究心、熱意なのです。

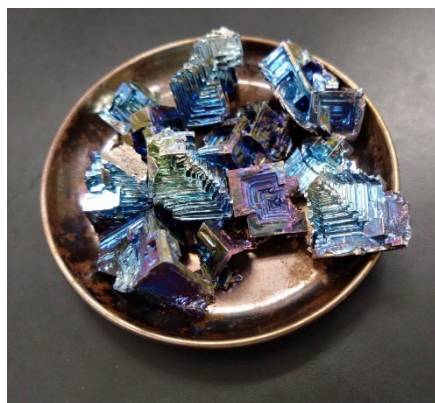
場所は 3 号館 1 階にある化学室です。興味が少しでもあれば、気軽に立ち寄ってみてください。皆さんの入班をお待ちしています。

令和6年度

- 令和6年度滋賀県高等学校文化連盟自然科学部門春季研究発表大会
口頭発表の部 最優秀賞
「陽極酸化によるビスマス酸化被膜形成時の色のくすみについて」
→近畿大会出場
ポスター発表の部 優秀賞
「アルギン酸ナトリウムのゲル化進行度の測定」
- 令和6年度滋賀県高等学校文化連盟自然科学部門秋季研究発表大会
ポスター発表の部 優秀賞
「ビスマスの酸化被膜の加熱による形成について」
口頭発表の部 第4位 読売新聞社賞
「ビスマス酸化被膜の構造色」
～電気分解によるビスマス酸化被膜の形成と除去について～

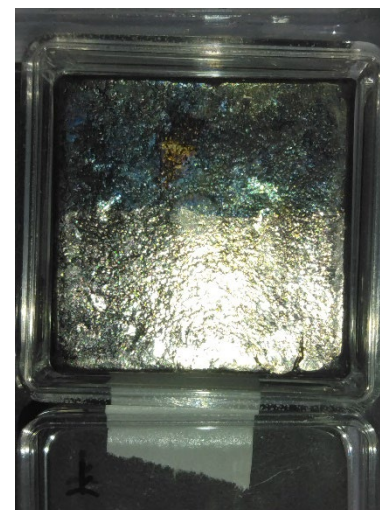
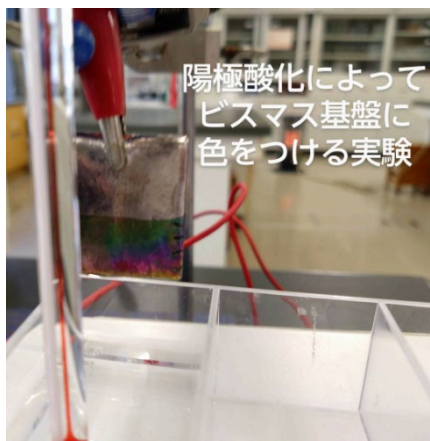


↑生成中のビスマス骸晶



↑ビスマス骸晶

ビスマスの電気分解による
着色と脱色の様子 →



← ビスマスの電気分解による
着色と脱色